

新たな文化の風を!

嘉穂総合高校総文祭開催

総文祭が開催されました。 に恵まれた十一月三日(金)、 日だまりの恋しい季節となりましたが、 晴天 嘉穂総合高校の

を地域社会に還元するための働きかけでもあ 日頃から本校で取り組んでいる各学科の専門性 文祭は生徒の成長を手助けするだけでなく、 徒間はもちろん、地域の方々との繋がりや未 術や科学における産物のことを指します。 豊かに生活するために必要な振る舞いや、芸 来の総合生も意識したテーマとなっています。 活で培ったものから新たなものを生み出し、 き起こせ総合革命~』は、 今年度のテーマでもある、 文化とは本来、 我々人間が社会の成員として 生徒たちが学校生 『「総輝新風」~巻

りました。 に発揮することができ、 密着を根差す嘉穂総合高校の取り組みが十分 生徒たちの文化的な活動を主体とし、地域 充実した総文祭とな

嘉穂総合高校 ニュース No.74 平成 29 年 11 月 17 日 発行所 発行責任者

公式ホームページには、より 情報を掲載しております。

http://kahosogo.fku.ed.jp このニュースの内容もウェブ・ ジの内容に取り入れています

生徒会長

経験を糧に卒業へ

山本 悠一郎(飯塚一中

じめ、全校生徒一丸となり総文祭を 成功させることができました。 総文祭実行委員長の清水龍我をは

びました。体育祭や文化祭などの大 きの充実感は何事にも代え難いもので えたときの達成感や行事が成功したと きな行事の時には、 多々ありました。大変な事も多かつ 事の準備をしたりする裏方の作業が めずに努力する事の大切さを改めて学 活動の中で私は、何事も最後まで諦 たですが、それらを生徒会で乗り越 今回の総文祭も含め、 放課後に残って行 様々な生徒会 卒業す

りの時間も有意義に過ごしていきま るときに僕は沢山のことを頑張ってき たんだと胸を張って言えるように、 も残りわずかとなりました。 としての任期も、 高校生としての時間 二学期も終わりに近づき、 生徒会長

ていたと思います。 各学科の展示や体験もとても楽しまれ

バザーやステージ発表も盛り上がり、

当日は、たくさんの方々が来られ

命感も必要ですが、各学年の先生方や 会の活動で学んだことを今後の進路に り僅かとなりました。 終わりに近づき、卒業までの時間も残 はそう感じました。 気づけば二学期も きな行事を成功させるには、自身の使 るということです。 総文祭のような大 私が改めて学んだことは、皆と協力す 全校生徒との協力が必要不可欠だと私 今回の総文祭も含め生徒会の活動で 学校生活や生徒



総文祭を終えて

総文祭実行委員長 清水 龍我

(碓井中)

と輝かし盛り上げていきたい、 ピールして、嘉穂総合高校を今よりもつ 法で総合の魅力を一般の方々にもっとア で私が意識したことは、何か新しい方 生懸命に取り組んできました。 総文祭 龍我です。今回の総文祭は「総輝新風」 う風に考えていました。 をテーマに嘉穂総合の生徒全員が協力 総文祭実行委員長を務めました清水 総合の特色をもつと輝かそうと一 嘉穂総合高校に新しい風を吹か そうい